

心のこもった良質な医療を提供し、地域の医療と人材育成に貢献します

すまいるみと

特集

地域連携室の取り組み

Vol. **84**

平成30年5月31日



筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院

◎特集「地域連携室の取り組み」

◎特集「地域連携室の取り組み」

質の高い地域医療を 目指して

地域連携室は、限られた医療資源を有効活用し、質の高い地域医療を提供するために、地域の医療機関と連携して地域医療のネットワークを整備し、できるだけ当院とかりつけ医療機関との業務分担を行い、地域の患者様が安心して継続的に医療を受けられるようサービスの向上を図ることを目的としています。

主な業務内容

地域の医療医療機関(紹介元)から、当院に患者様を紹介していただく際の窓口として診療予約を受け付けます。

症状が落ち着いた患者さんは、当院から紹介元の医療機関へ逆紹介します。紹介元および紹介先医療機関との情報管理を

行い、患者様がスムーズに受診・入院できるように、また退院・転院することができるようにより医療機関、介護施設をはじめ行政や福祉に関わる多くの施設を繋ぐ役割を担っています。

地域医療連携の一環として当院医療機器を利用していただくため各種検査予約を行っています。

地域連携室は、病気に伴い様々な面でお困りの患者様やご家族様のご相談に応じ支援させていただきます。お気軽にご相談ください。

地域連携室で予約できる主な検査・治療

- ・ 骨密度検査
- ・ ボツリヌス療法
- ・ 医療機関の皆様へ)
- ・ 上部消化管内視鏡検査



連携室の流れ

患者様

- ①まずはお近くの診療所・クリニックを受診



かかりつけ医（診療所・クリニック）

- ②紹介状を持って水戸協同病院を受診
(予約) ☎029-233-9937



水戸協同病院

- ③症状が安定してきたら
かかりつけ医へ逆紹介



かかりつけ医を持ちましょう

日本医師会によると「健康に関することを何でも相談でき、必要の時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医者のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。

病気のために別々のお医者さんに通っていると、通院のたびに同じ検査を繰り返したりと、具合が悪いときにあなた自身の

負担も大きくなるでしょう。いつもとちよつと様子が違うなと、気づきを与えてくれ、適切な診断と、適切な医療機関の紹介ができる。自分と相性の合うパートナーとしてのかかりつけ医がいることは、健やかな毎日を過ごすため非常に心強い存在となるはずです。いざという時に困らないためにも、自宅や職場の近くに、かかりつけ医を見つけておきましょう。

医療機器（骨密度測定装置）共同利用についてのご案内

当院では、骨密度検査について、検査のみを実施させていただく医療機器の共同利用を平成28年11月より開始しております。

医療機器の共同利用とは、当院で検査のみを行い、会計やレセプト請求は紹介元医療機関様でしていただくシステムです。（当院の医師の診察はありません）

※患者様への検査結果のご説明については、紹介元医療機関の先生よりお願い致します。

上部消化管内視鏡検査予約のご案内

当院では上部消化管内視鏡検査の予約を開始致しました。予約の方法は次の通りですが、ご不明な点は地域医療連携室までお問い合わせください。尚、同検査は医療機関からの予約に限定させていただきます。

【ご予約の流れ】

「上部消化管内視鏡検査予約申込書兼診療情報提供書」当院のホームページより用紙をダウンロードしてご記入の上、地域医療連携室宛てにFAX願います。

「脳卒中」地域連携への取り組み

地域における脳卒中医療・ケアの質の向上のために

当院では、茨城県央・県北脳卒中地域連携パス研究会に参加をしております。

研究会の目的としては、地域の脳卒中（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血）患者に関わる専門職間で、連携の根幹となるヒューマンネットワークを構築し、病院・施設間の強化を図り、診療情報の共有化を進めております。

地域連携診療計画（地域連携パス）の作成及び継続的見直しを実施することにより、地域における脳卒中医療・ケアの質の向上を図っております。また、地域住民へ脳卒中医療・ケアに関する啓発を行うとともに、急性期から維持期まで安心して脳卒中の治療・リハビリを受けられることのできるシステムを構築しております。

地域連携パスとは、診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者様に提示・説明することにより、どこの病院に転院されても患者様が安心して医療を受けることができ、また、転院時にスムーズに患者様の

状態を伝達するため、地域で統一された情報提供書を作成し共有して用いるツールのことです。入院から7日以内に患者用シートを利用し、患者様、ご家族様に発症から在宅までの流れの説明をさせて頂いております。当院での治療が終了し、体の状態や意識が改善・安定してきたら、退院、転院をします。転院の紹介先としては、回復期リハビリ病院、療養型病院や介護老人保健施設への紹介をさせて頂いております。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者に対して、リハビリテーションを集中的に行うための病棟であり、回復期リハビリを要する



患者が常時80%以上入院している病棟を言います。

急性期の状態を脱してもまだ医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんを対象に受け入れ、自然回復を促す環境をつくり、多くの医療専門職がチームを組んで集中的なりハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻って頂くことを目的とした病棟です。この病棟では、病名と、病気の怪我をしてから入院するまでの期間が決められています。脳卒中の場合は「発症後2ヶ月以内の入院」が原則となっております。

現在、医療は病院完結型医療から、地域の病院がそれぞれの特色を生かし、役割分担をし、連携する地域完結型医療へと形を変えています。その中でも、脳卒中は、死亡率が高く助かった場合も障害が残る、患者様・ご家族様の生活が一変する病気です。そのため、入院期間が長くなり、複数の病院に入院することも珍しくありません。また、入院生活より在宅生活の年月も長く、再発予防や生活の質向



上のためにも、患者・家族を支えるかかりつけ医・介護保険サービスの提供する事業所の関わりも重要となります。そのため、一つの病院だけでなく、地域全体の病院・事業所が治療やケアについて考え、お互いのチームワークを高め、地域としての治療・ケア実績を向上させる地域連携活動が必要となっております。

不明な点はソーシャルワーカーまでお問い合わせください。

MSW大津

脳卒中の後遺症について

Q 脳卒中後の後遺症、痙縮ってなに？

脳卒中によくみられる運動（機能）障害の1つに痙縮（手足のつっぱり）という症状があります。痙縮による姿勢異常が長く続くと、筋肉が固まって関節の運動が制限され、日常生活に支障が生じてしまいます。痙縮があるとリハビリテーションの障害になることもあるので、痙縮に対する治療が必要です。また、痙縮に対する治療の1つとして、ボツリヌス療法があります。当院でも行っておりますので、まずはお気軽にご相談ください。

痙縮（けいしゆく）

- 筋肉が緊張しすぎてしまう状態で、手足がこわばったり、つっぱったりします。
- 片まひと同じ側の手足にあらわれることがあほとんどです。



Q こんなことでお困りではないですか？



Q ボツリヌス療法ってなに？

ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質（ボツリヌストキシン）を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌストキシンには、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える効果があります。そのため、ボツリヌストキシンを注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができるのです。

ボツリヌス療法

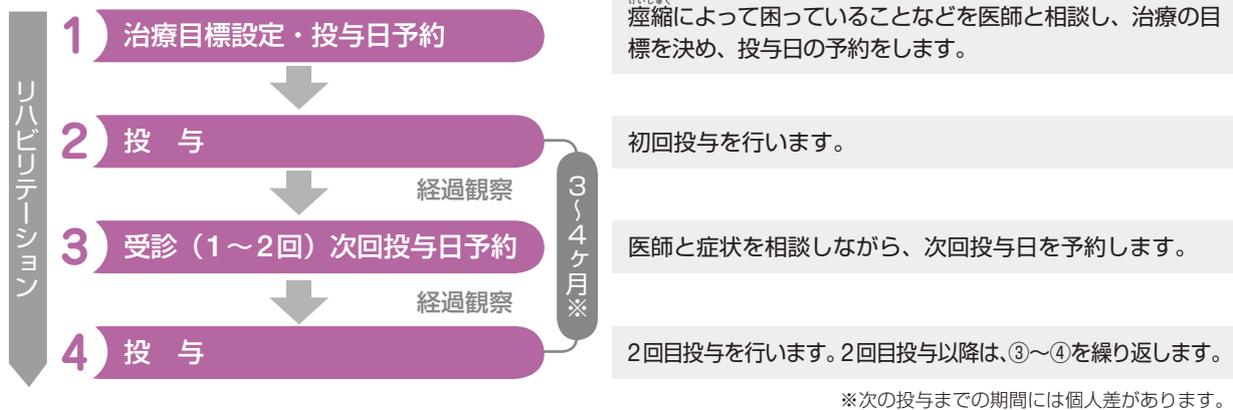


- つっぱったり、こわばっている筋肉に、直接お薬を注射します。
- 注射した筋肉のつっぱりやこわばりをやわらげます。

Q ボツリヌス治療によって期待できる効果は？

<p>関節が固まって動きにくくなったり、変形するのを防ぎます</p>	<p>リハビリテーションがしやすくなります</p>	<p>介護の負担が軽くなります</p>
------------------------------------	---------------------------	---------------------

●治療スケジュール



まずは地域医療連携室にて予約をお取りの上、ご相談ください。

【対応時間】月～金・8:30～17:00 / 土・8:30～12:30

☎ 029-233-9937 (直通)

水戸協同病院 脳神経外科

柴田 靖・益子 良太

平成30年1月 水戸協同病院内に 「退院支援病棟」がオープン致しました

Q1. 退院支援病棟とは？

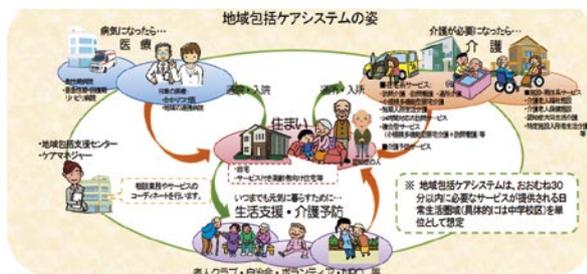
A. 急性期の治療を終了した患者様が安心してご自宅へ退院するために、療養やリハビリを継続する病棟です。

※急性期病棟入院日から、最長60日間入院の継続が可能です。

※自宅への退院が困難な場合は、施設・老人ホーム・療養型病院への退院調整も行っています。

Q2. なぜ退院支援病棟がオープンしたの？

A. 患者様が住み慣れた地域で生活を継続するため！これは、国の政策でもある地域包括ケアシステム構築の一環です。



地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年と目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられることができるよう、医療・介護予防・住まい生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

Q3. 退院支援病棟の活動は？

A. 退院支援病棟専従のスタッフと共に自宅退院に向けた調整を行っています。

●看護師・看護補助者

患者の意思決定支援と自立支援を柱に、退院後の療養生活をどのように送りたいか、それを実現可能にするため援助します。



●リハビリテーション部

患者様の心身が回復するよう、在宅復帰に向けて治療・支援を行います。



●社会福祉士

患者様が退院後に安心して生活を送れるよう在宅復帰に向けた支援を行います。



病棟で行われている看護援助

●体動困難な患者様に

1日2回の梅ちゃん体操※、病棟内歩行訓練

●認知機能が低下した患者様に

レクリエーション



Q4. 退院支援病棟を退院したら…

A. ご自宅に戻ります。

ご自宅で安心して生活を送れるよう介護サービスの手配や、ケアマネージャーとの介護サービスの調整も行っています。

※梅ちゃん体操とは、当院のリハビリテーション部が考案した健康体操です。

第5回 地域連携フォーラム

医療・消防関係者ら地域連携へ認識新たに



講演会終了後には第2部として懇親会を催し、地域連携室の紹介・各診療科の紹介をさせていただき、普段はゆっくりとお会いできない先生方とも大いに親睦を深めることが出来ました。

各医療機関と消防署の皆様方には平日にも関わらず、ご出席いただきありがとうございます。我われは、これからの地域医療の向上に努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。

地域連携室

ります。当院ならではの総合診療の取組をぜひご理解いただければ」との挨拶に始まり、総合診療科の児玉泰介医師が総合診療体制の構築により特色のあるチーム医療を行っている症例を報告。小林裕幸副院長が「総合診療体制の取り組み」と題して講演が行われ来場者から多くの関心を集めていました。

平成30年2月15日（木曜日）水戸市三の丸の水戸京成ホテルにて第5回地域連携フォーラムを開催しました。当日は、近隣の医療機関や消防関係者ら約140人の皆様に御集まりいただきました。

渡邊宗章病院長から「当院も稼働率が100%を超えている日が続いており連携の大切さを身に染みて感じております。当院ならではの総合診療の取組をぜひご理解いただければ」との挨拶に始まり、総合診療科の児玉泰介医師が総合診療体制の構築により特色のあるチーム医療を行っている症例を報告。小林裕幸副院長が「総合診療体制の取り組み」と題して講演が行われ来場者から多くの関心を集めていました。

食に関する豆知識



良く噛んで食べよう

「よく噛んで食べていますか?」と聞くと、「はい」と答える人は意外と少ないです。その理由は、ゆっくり食事をする時間がないことや噛まなくても容易に食べられる食事メニューが多いことなどがあげられます。そして私たちは患者さんに「良く噛んで食べてくださいね」と伝えます。なぜか、その理由をここで詳しく説明したいと思います。

私たちが普段、意識せずに行っている「噛む」という動作は、口に入った食べ物を飲み込みやすくすることで、食べ物を飲みこめてしまえば噛まなくて済む(済んでしまう)こととなります。しかし、この「噛む」という動作が実は食べ物を飲みこむだけでなく、体にとって大切な役割や良い効果を持っているのです。

まず、食べ物を良く噛むことによって口腔内から消化酵素を含む唾液が多く分泌されます。その唾液が食べ物とよく混ぜ合わされると胃腸での消化吸収を促進し、胃腸の負担を軽くすることが出来ます。また、唾液が多く出ることによって虫歯や歯周病、がんの予防なども期待が出来ると言われております。さらには、あごをたくさん動かすことから脳を刺激し活性化させる効果や、よく噛むことで食物本来の味を引き出すことができ、食物をお

いしく感じる事ができて満腹感に繋がり肥満防止やダイエット効果も得られると言われております。

その目安となる一口の噛む回数は20~30回です。噛む回数を増やすためには、食事時間にゆとりを持つこと、食事メニューを見直すことなどが大切なポイントになります。ぜひ実践し、健康な体づくりを目指してみたいかがでしょうか。

《噛む回数を増やすための食事ポイント》

- ◆噛み応えのある食材を取り入れる
れんこん、にんじんなどの根菜類、ほうれん草、小松菜、レタスなど葉物類、タコ、イカ、貝、干物など魚介類、いも類、豆類、ナッツ類
- ◆調理方法を工夫する
食材は少し大きめに切る、必要以上に煮込まない
- ◆水分で流し込まない
お茶や水は食べ物を飲み込んでから
- ◆メニューを選ぶ
お粥、雑炊、カレー、めん類などは噛む回数が少なくなる

栄養部 小沼洵子

News Report ニュースレポート

1月16日(火)

IBS 茨城放送 JAさわやかモーニング



多田重勝先生「インフルエンザ予防のために」

1月22日(月)

医療安全研修会奨励賞 表彰!!



検査部に表彰状

1月17日(水)

第3回カンガルー倶楽部開催 (育休看護師支援)



1月28日(日)

勝田マラソンに参加



チーム水戸協同病院全員完走!!



土曜日
限定

人間ドック 割引キャンペーン

期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

通常 **41,040円**(税込)のところ

キャンペーン期間中に限り
10,000円引き

県内JA厚生連病院のうち
水戸協同病院のみ

割引後 31,040円(税込)

対象者

平成31年3月31日(日)までに受診される方
個人受診者(全額自己負担の方)

他割引
併用

「市町村ドック」、「JA共済連人間ドック割引
キャンペーン」のみ併用可※

※他企業団体補助等での受診申し込みは対象外とさせていただきます。

※受診者数・オプション検査に制限のある場合がございます。

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
総合病院 水戸協同病院
〒310-0015茨城県水戸市宮町3-2-7

※予約制となっております。下記の番号にお問い合わせください。
健康管理センター

☎029-233-9930(直通)

【診療受付時間】(月～金)午前8:30～11:00 / (土)午前8:30～10:00 【電話での予約受付】平日14:00～16:00

木		金		土		備考
午前 担当医	午後	午前 担当医	午後	午前(第1・3) 担当医	午前(第2・4・5) 担当医	
	小林(裕)		児玉(泰)	【睡眠外来】	【睡眠・紹介外来】	
熊倉 佐藤(浩) (予約) 大原		有賀 佐藤(浩)(予約) 籠橋 岡内		安部井	安部井(第5)	※内科 成人の睡眠時無呼吸症 候群の方診療いたします。
藤井	【甲状腺】深澤 五十野(桃)	村松	片倉	野牛(第1・3) (予約)	熊谷(第2) 藤井(第4) (予約)	※総合診療科・ 呼吸器内科(腫瘍外来) 予約制
加藤		黒田 外山 中村	大石	交代制(予約)	交代制(予約)	※禁煙外来 予約制 第2・4土曜日(初診) 第1・3・5土曜日(再診)
千野 織田(予約) 辻(第1)	千野 塩谷(予約)		川口(第1・3)	中村		※腎臓内科 予約制
				呼吸器内科医師	呼吸器内科医師	
石橋		【化学療法外来】 松村(第2・4) 塚本(第5) 【ストーマ外来】	倉田 (第1・3)(予約) 【ストーマ外来】	【術前・処置・予約 外来】 交代制 渡邊(宗)	【術前・処置・予約 外来】 交代制 渡邊(宗)	※フットケア外来 (完全予約制) 火曜日 9:00～11:00 木曜日 14:00～16:00
福田	石橋	齋藤(剛)				
江藤 万本 落合 高橋	江藤 万本 落合 高橋 船山(第3)	平野 大西(第1・3・5) 辰村 猪股 櫻井 岩淵	辰村 猪股 櫻井 岩淵	江藤(第3) 万本(第3) 小川(第1) 辰村(第1) 新患担当医 新患担当医		※一般外来は予約制 予約受付時間は9:00～16:30 (予約センターにお電話下さい)
	江藤 万本	平野		江藤(第3) 万本(第3) 小川(第1) 辰村(第1) 新患担当医 新患担当医		※スポーツ外来新患は 14:00～16:00 ※再来で理学療法受ける方 11:00まで受付(要予約)
交代制 田口 本多 研修医	中山(凱) 手術	山田 本多 研修医		渋谷 交代制 研修医	諫山(第2・4) 交代制 研修医	※受付時間(木) 13:30～15:00 ※受付時間(火・丸山) 8:30～10:00 ※土曜日の診療受付(予約、紹介患者のみ) ※泌尿器科2番診察室使用(月 午前・田口)
柴田 柴田 佐々木(再診予約) 島居		柴田(予約第1・3・5) 益子(予約第2・4) 原 柴田	益子(予約) (第1・3・5)	木野	佐藤(第2・4)	※新患受付(火) 8:30～10:30
鈴木	鈴木(再来予約) 12:30～15:00					※新患受付8:30～10:30 ※当日枠の定数を越えた場合診療不可
岡本 井坂 松本 小泉 新患担当医	岡本(予約) 井坂(予約) 手術	井坂 大房 秋月 福田 新患担当医	井坂(予約) 大房(予約) 手術 検査 (頸部エコー)	交代制 医師2名 交代制	医師1名 交代制	※手術/月・水 ※土曜日(第2・4・5) 紹介患者様のみ診療と なります。
伊藤 有賀 鹿志村 飯岡	熊倉 飯岡 気管支鏡	手術 熊倉 鹿志村 飯岡	田口(典) 伊藤(再診予約) 熊倉 有賀 飯岡 鹿志村	伊藤	交代制	※月・水・金 午後のみ ※要予約/初診も予約可

各診療受付時間及び診療担当医師

(平成30年4月11日現在)

科目	月		火		水		
	午前 担当医	午後	午前 担当医	午後	午前 担当医	午後	
内 科 初 診							
総合診療科		長崎		児玉(祐)	金井(第2・4)	木下 金井(第2・4) 【睡眠外来】	
消化器内科	熊倉	有賀		鹿志村	鹿志村		
呼吸器内科	佐藤(浩) 岡内		【腫瘍外来】 呼吸器内科医師 大原	【腫瘍外来】 呼吸器内科医師	籠橋		
禁煙外来							
内分泌代謝・ 糖尿病内科	齋藤(和)		村松(第1・3・5) 野牛(第2・4) 片倉 【甲状腺】深澤		熊谷	野牛	
循環器内科	黒田 加藤	黒田 小島 大石		渡辺(重)	黒田 小島 外山	【足外来】 小島	
腎臓内科		中村		甲斐		西久保	
膠原病リウマチ内科	千野	千野			千野	清水(優)	
神経内科	塩谷(予約) 織田(予約)	織田(予約)	吉田(予約)	織田(予約)			
感染症科				【ワクチン・渡航外来】矢野			
消化器外科		津久井	松村	松村 (第1・2・4・5) 【ストーマ外来】	塚本		
呼吸器外科	井口						
乳腺外来	福田				齋藤(剛)		
整形外科	平野	平野	江藤	江藤	小川		
	万本	万本					
	小川	小川	辰村	辰村	照屋	照屋	
	猪股	猪股	照屋	照屋	櫻井	櫻井	
	高橋	高橋	落合	落合	岩淵	岩淵	
スポーツ整形外科		平野		江藤		岩淵(新患)	
		万本					
		小川		辰村		小川	
スポーツコンディショニング外来		小林(裕) 内田					
形成外科							
皮膚科	田口(初診)	予約外来 特殊外来	丸山(初診・予約・予約外)	手術	田口	予約外来 特殊外来	
	山田		山田		山田		
	本多		本多		本多		
	研修医		研修医		研修医		
脳神経外科	柴田(予約)		石川(第1・3・5)10:30~ 鶴淵(第2・4)		益子		
頭痛外来	益子						
泌尿器科	柴田		佐々木(再診予約) 河合		佐々木(再診予約) 志賀		
婦人科	佐々木						
眼科	関		鈴木		横田		
耳鼻咽喉科	岡本	手術	岡本	岡本(予約) 大房(予約)	井坂	手術	
	井坂		大房	大房			
	飛田		秋月	飛田			
術前外来	福田	手術	松本	【腫瘍外来】 (予約)秋月・ 松本・福田	松本	【嚥下外来】 (予約)	
	新患担当医		小泉	福田	福田		
歯科口腔外科		田口(典)				田口(典)	
内視鏡	伊藤	伊藤(再診予約)	伊藤	伊藤(再診予約)	手術	伊藤(第2・4)(再診予約)	
	有賀	熊倉	有賀	熊倉	橋本	熊倉	
	鹿志村	鹿志村	熊倉	有賀 気管支鏡	熊倉	熊倉	有賀 鹿志村

※学会出張等により、臨時に休診または受付時間を変更する場合があります。ご確認下さい。

ちょっと薬の話

「薬薬連携と かかりつけ 薬局」 のはなし

薬剤部 関野富久



処方せんを調剤薬局に持っていき、そこで薬をもらう院外処方が世間に大分浸透してきました。

しかし、患者さんが病院でどういう治療を受けているのか、などについては調剤薬局の薬剤師は病院の外にいるためわかりません。そこで病院と調剤薬局が連携して、より充実した医療を患者さんに提供できるよう取り組んでいます。

「病院と調剤薬局との連携」 について

多くの患者さんが持っているお薬手帳、この手帳には患者さんが飲んでいる薬や副作用などの情報がここに書かれているなど、大切な情報が書いてあります。この手帳をつかって、病院と調剤薬局は患者さんの情報を共有しているのです。ほかにも、処方せんの内容に問題があった場合などは病院の薬剤師を通して情報を確認し、必要があれば処方せんを正しく直しています。水戸協同病院では去年より院外処方せんに検査値を載せています。腎機能、肝機能、血糖値などがわかることで調剤薬局は薬の用法用量に問題がないか、をより正確に確認することができるようになりました。

「かかりつけ薬局」について

患者さんの中には複数の薬局から薬をもらっていると思われるかもしれません。しかし、薬局を1つに決め、薬をまとめて管理してもらうことで、複数の医療機関から同じ薬が処方されていないか、薬の飲み合わせに問題がないかをチェックすることが出来るからです。

最近の調剤薬局とドラッグストアは積極的にジェネリック医薬品を導入したり、在宅医療に参加したりと患者さんのためにいろいろな取り組みを実践しています。自分に合った『かかりつけ薬局』を探して見て下さい。

| 編集後記 |

青葉若葉のさわやかな季節となりました。

さて、今回の特集は「地域連携」です。先日、糖尿病の持病のある年老いた母が、息切れがするというので、循環器専門の病院へ紹介されました。幸い近所のクリニックの「かかりつけ医」の先生がすぐに心電図をとってくれて、病院に紹介予約をいれていただいたので、スムーズに受診することができました。病院を受診するのは医療関係者でも不安なものです。われわれの病院の地域連携室も皆様の不安を少しでも取り除き、患者さまの受診のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

今回も至らないところもありましたが無事編集を終えることができました。次回も温かく見守っていただけると嬉しく思います。



JAさわやかモーニング

MON~THU ^AM 9:35 ON AIR

厚生連では IBS (茨城放送) で医学解説を放送しておりますので是非お聞き下さい。また、放送内容を要約したものを随時ホームページに掲載していく予定です。



第3火曜日 「やさしい医療」

第4・5水曜日 「メディカルインフォメーション」



FM水戸局 94.6MHz AM水戸局 1197MHz
日立局 88.1MHz 県西・土浦局 1458MHz

すまいるみと

Vol.84 2018年5月31日発行

●発行所／筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 茨城県厚生連 総合病院 水戸協同病院
〒310-0015 水戸市宮町3-2-7 TEL: 029-231-2371 <http://www.mitokyodo-hp.jp/>
●発行人／渡邊宗章 ●編集／広報室